

令和8年7月2日

件名 夏の風物詩「藍の生葉染め体験」が染料植物園でスタート

高崎市染料植物園では、藍の葉の勢いがピークを迎える7月中旬から8月中旬にかけて、藍の生葉を使って絹のスカーフなどを染める染色体験を全7回開催します。初日となる7月12日は定員20人がすべて埋まりました。

藍の生葉染め体験は子どもでも簡単に染色ができるとあって家族連れにも人気の講習会です。初日の講習会も複数の家族連れが申し込んでいます。

当植物園では毎年3月に藍の種まきをし、藍の葉が最盛期を迎える夏に生葉染めの体験を開催しています。

藍が夏の風物詩と言われる理由は、藍の葉が夏に最盛期を迎え刈り取りの季節であることや、藍染めの浴衣や暖簾などが古くから親しまれてきたことなどが挙げられます。また、「ジャパンプルー」は、明治に来日したイギリス人が日本のいたるところで藍染めの衣類などを目にし、その美しさに感銘し公の資料で紹介したことが由来となっています。

#### 1. 藍の生葉染め体験の概要

園内で栽培している藍の葉を参加者に採取してもらい、ミキサーにかけて染液を作り、絹のスカーフなどを浸して染めるという流れです。スカーフのほかにポケットチーフとストールが選べます。染液に浸す前に生地を輪ゴムでくくり、模様が出るようにします。くくりかたによって模様が変わるので全員が違う模様になります。藍の生葉染めの特徴は他の染料では出せない鮮やかな水色に染まるということです。

2. 開催日 7/12(日)・20(祝)・22(水)・26(日)、8/2(日)・9(日)・11(祝)

3. 時間 各日 10:00～正午

4. 対象 子ども(4歳)～大人 ※小学生以下は保護者同伴

5. 定員 20人

6. 昨年の様子



#### 【本件に関する問い合わせ】

総務部文化課染料植物園

電話:027-328-6808